

あきる野市における自殺の現状について 自殺統計から

< 用語の解説 >

□ 自殺統計について

- ・自殺統計とは、警察庁による自殺に係る統計のことです。都道府県警察では、検死・死体調査により遺体の死因を自殺と判断したケースについて、案件毎に自殺統計原票を作成しており、データ化したものを警視庁において取りまとめています。日本における外国人を含みます。
- ・厚生労働省では、警察庁が取りまとめたデータの提供を受けて資料の作成を行い、地域における自殺の基礎資料として掲載しています。

□ 人口動態統計について

- ・人口動態統計とは、厚生労働省が実施する調査に基づく統計で、国の基幹統計の一つです。
- ・自殺を含む死亡と死因の統計については、死亡届/死亡診断書（死体検案書）に基づく人口動態調査死亡表を集計して作成されます。日本における日本人の集計が主です。
- ・住所地と死亡日時で集計をおこなっています。

□ 地域における自殺の基礎資料

- ・厚生労働省において、自殺の実態把握として地方公共団体職員等が利用することを目的に、警察庁から提供された自殺統計原票に基づくデータの加工統計です。資料の作成に当たっては、自死が行われた日（自殺日：A表）及び遺体が発見された日（発見日：B表）に基づいています。
- ・都道府県及び市町村別に集計するに当たっては、上記に自殺者が住んでいた場所（住居地）、遺体が発見された場所（発見地）をクロスして集計を行い資料としています。そのため、○自殺日・住居地 ○自殺日・発見地 ○発見日・住居地 ○発見日・発見地の4パターンで集計をしています。
- ・集計小目としては、年齢階級別や職業別、原因・動機別自殺者数などです。

□ 暫定値、確定値の違い

暫定値：

- ・ある月の翌月上旬頃に報告された自殺者数として、中旬頃に公表される値です。集計項目は月別、男女別、都道府県別の自殺者数です。

確定値：

- ・ある年の確定した自殺者数として、翌年3月中旬頃に公表される値です。暫定値と同様に、集計項目は月別、男女別、都道府県別の自殺者数です。これ以外に、職業別や原因・動機別自殺者数などを集計しています。

■令和5年の月別自殺者数の推移 過去5年の比較（全国）

（出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」暫定値）

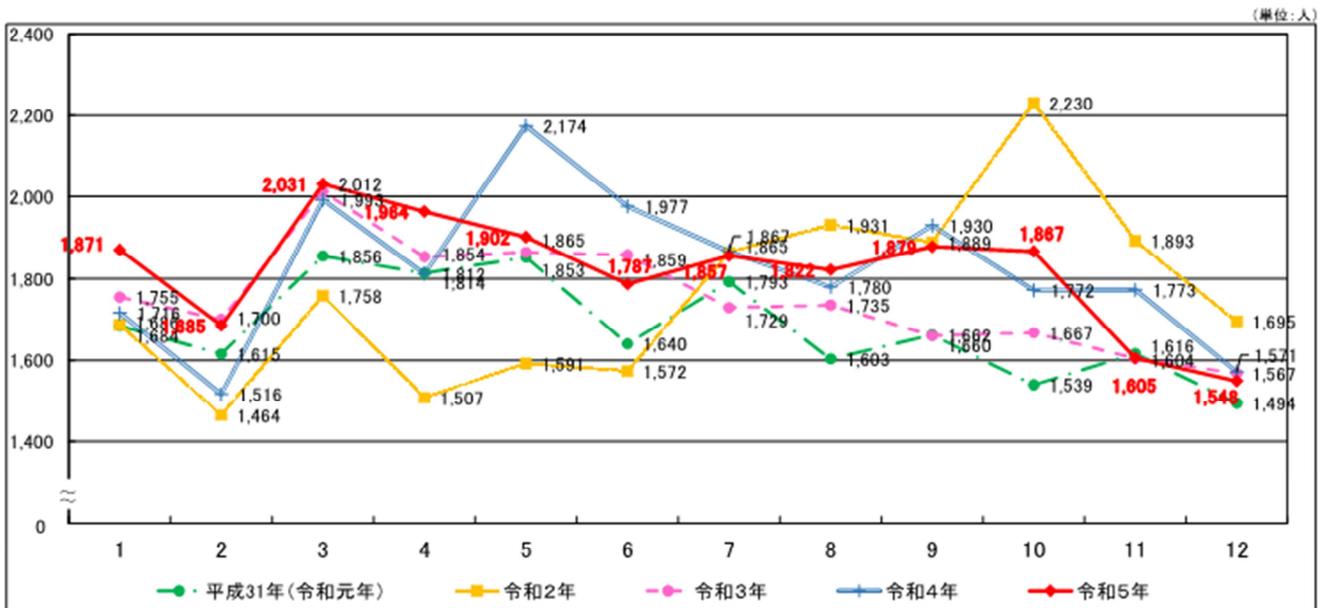
- ・令和5年（赤）は令和4年（水色）と比較して4月までは高水準で経過していました。5月からは前年度を下回って推移していますが、10月にやや増加傾向でした。
- ・令和5年の数値は暫定値になりますので、3月頃に発表される確定値で変動する可能性があります。

令和6年1月26日
厚生労働省自殺対策推進室

警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等

- 令和5年12月の自殺者数(1,548人:暫定値)は、対前年同月比23人(約1.5%)減。
- 令和5年1-12月の累計自殺者数(21,818人:暫定値)は、対前年同期比63人(約0.3%)減。

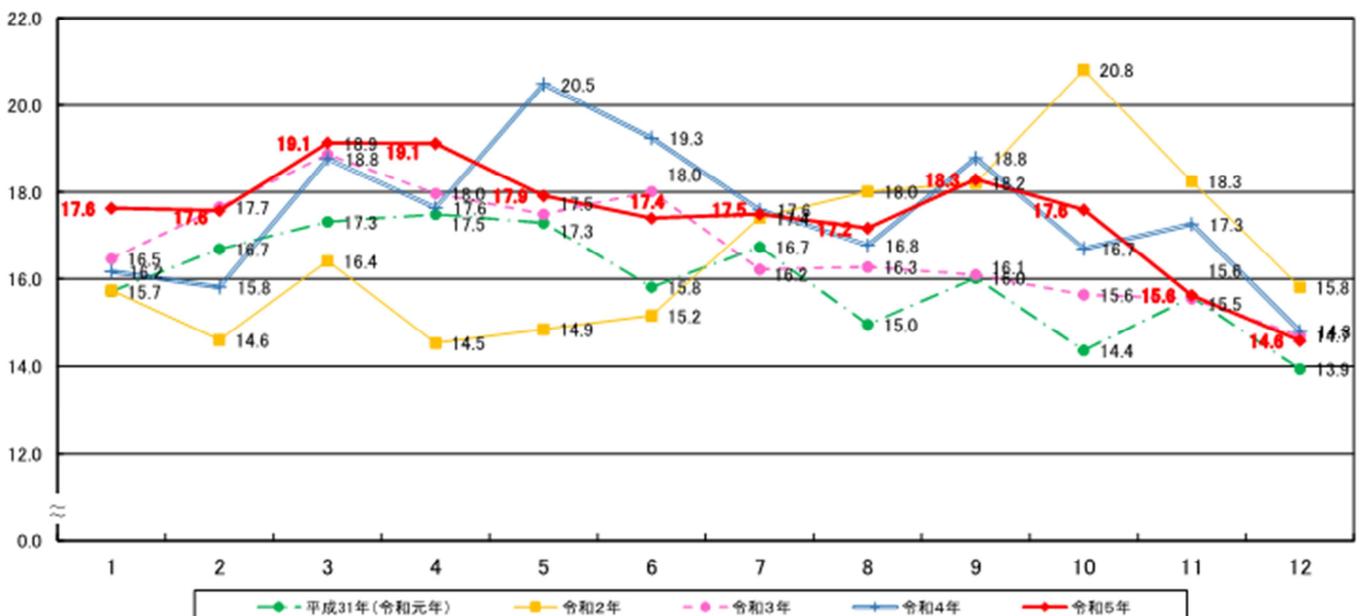
月別自殺者数の推移(総数)



発見日

(参考)

月別年率換算した自殺死亡率の推移



■ 令和5年（1月～12月 ※暫定値）月別自殺者数

（出典 厚生労働省ホームページ「地域における自殺の基礎資料」暫定値）

